NIE実践報告

１．タイトル：☆新聞を活用した授業実践

２．学校名

北海道旭川市立永山中学校

３．実践者名（代表者名）

藤原　淳

４．学年

第2学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　179人(5クラス)

６．単元（本時の学習課題）名

(1)根拠を明らかにして書こう　(2)モアイは語る

７．目標（狙い）

(1)新聞の投稿欄に沿ったテーマで自分の考えを書き、発表する。
(2)記事を活用し、重要語句を見つけたり、要点をまとめたりする。

８．評価の視点

(1)テーマに沿った内容で自分の考えを明らかにした文章が書けたか。聞き手を意識した発表ができたか。
(2)記事に書かれた内容を適切にまとめることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

(1)根拠を明らかにして書こう(教科書教材:光村図書)　3時間(単位時間を分割して活用)
(2)モアイは語る(教科書教材:光村図書)　2時間(単位時間を分割して活用)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)a.投稿欄のテーマ(何のために学ぶのか)を示し、自分の考えを明らかにする。読み手に効果的に伝わるための構成の工夫を考える。下書きする。(1時間)
b.下書きを推敲し、制限時間内に話せるように発表の練習をする。(1時間)
c.学級内で発表する。聞き手は発表を評価する。(1単位時間の4分の1を4回:1時間)
(2)a.日曜版の特集を読み、感想を書き、発表する。(1単位時間の2分の1を1回)
b.日曜版の特集を読み、キーワードを抜き出す。感想を発表する。(1単位時間の2分の1を1回)
c.日曜版の特集を読み、要点をまとめる。グループで要点を付き合わせる(1時間)
(留意点)
・(1)では、テーマについての意見を発表し合い、意欲を高めさせる。
・(1)の発表では、自分の発表に必要なキーワードだけをカードに記入し、それに沿った発表をさせる。
・(2)では、「モアイは語る」につなげるために説明文に慣れさせるねらいをもたせる。
・(2)では、事実と意見の違いに留意させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・(1)では、テーマが身近なものであったために意欲的に取り組んでいた。
・(2)では、回を重ねるごとに読むスピードが上がるとともに内容を的確につかむことができるようになった。
・(2)では、仲間と意欲的に学習に取り組んでいた。

12．成果と課題

・新聞を活用することにより、学習に変化が表れ、興味をもって学習に取り組んでいた。
・新聞を読むことに興味をもつ生徒が多くなった。
・新聞を活用することの意味をもっと掘り下げる必要を感じた。
・継続的な取り組みが重要である。今回のように1単位時間を分割して活用する工夫をしたが、教育課程への位置づけなど学習時間の確保が難しいと感じられる。